

足立機械製作所破壊事件

▲鐵工組合の思想的背景……………	三二	▲最後の交渉と連判帳……………	四〇
▲泉の足立工場評……………	三三	▲遂に工場襲撃さる……………	四二
▲泉忠解雇さる……………	三四	▲泉忠破産視應に自首す……………	四三
▲職工全部解雇の揭示……………	三五	▲労働組合と足立事件……………	四四
▲六日の騒擾と罷工組織……………	三六		
▲棚橋小虎氏の態度……………	三八		
▲鐵工組合の應援決議……………	三九		

第七回労働争議調査報告（日本鐵工會社労働争議）

△争議に具備せる四個の特色

東京府下大崎、日本鐵工株式會社に於ける労働争議は、一月十一日に其端を開き、同十九日會社の工場閉鎖の宣言となりたるが、品川署長の調停に依り二十五日に到り其解決を告げたり。

此争議に四個の特色あり。即ち

- 一、會社は終始職工の團結權を認め、争議を對組合の問題とせしのみならず、争議以前に於て最もよく労働組合の希望に添へること
 - 二、労働組合に對し會社は一切の帳簿公開を許容せること
 - 三、解雇手當の支給に際し金額不足の部分に工場の製品を以て充てたること
 - 四、足立工場に於ける暴行の精神的影響を工場、組合、第三者共に甚だしく受けたること
- 等にして、是を骨子とする二週日に涉れる争議の経緯は、研究に値するもの尠しとせず。

△東京鐵工組合の創設